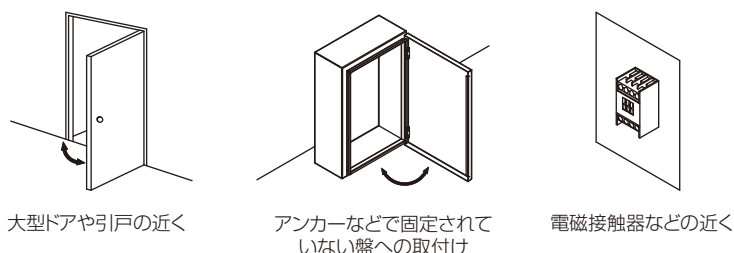


感震ブレーカー 設置場所の選定とご使用について

- 感震ブレーカーは震度5強相当以上で動作しますが、取り付け位置で感知するため、設置状況、場所などによって気象庁の発表する震度とは異なる震度で動作するおそれがあります。一般的に設置場所が高くなるほど地震や振動による揺れが大きくなります。
- 地震波に類似した振動が発生する場所では感震機能が動作するおそれがあります。設置場所においてあらかじめ誤動作が起こらないことを確認し、本製品を設置してください。

〈誤動作の可能性がある場所の事例〉

- ・大型のドアや引戸の近く
- ・連続して振動、衝撃を発生させる機器、設備の近く
- ・アンカーなどで固定されていない壁への取り付け
- ・強度が低い壁面への取り付け
- ・電磁接触器などの近く
- ・IECレールへの取り付け
- ・建物の修繕工事など



定期点検

ブレーカの性能を維持し、不測の事故を未然に防止するためには定期的な点検が必要です。点検は、設備の運転開始から1ヵ月前後に1回、その後は使用環境に応じた点検間隔で定期点検する必要があります。

点検の目安

空気がいつも清潔で乾燥している場所	2～3年に1回
屋内で塵埃などの少ない腐食性ガスのない場所	1年に1回
亜硫酸、硫化水素、塩分、高湿などのガスが含まれ、塵埃の少ない場所	6ヵ月に1回以上

注意

1～6の項目は電圧が印加されていないことを確認してから点検をしてください。保守・点検は専門知識を有する人が行ってください。

点検項目	判定基準	不良の場合の処置
1. 端子ねじの緩みがないか	緩みのないこと	緩みがあれば規定の適正締付トルクで増締めしてください。適正締付トルクは882・883頁をご参照ください
2. 塵埃、油などの付着がないか	端子まわりはきれいになっていること	乾燥したきれいな布で拭き取る
3. カバー、ベースに亀裂、破損がないか	亀裂、破損がないこと	新品と交換してください
4. ハンドルによる開閉がスムーズに行えるか	スムーズに操作できること	開閉がスムーズでないものは新品と交換する
5. 異常温度上昇はないか	目視により絶縁ケースや端子部分に過熱による変色のないこと	新品と交換してください (銀めっきの多少の変色は問題はない)
6. 500V絶縁抵抗計で絶縁抵抗を測定する	5MΩ以上であること	5MΩ未満のものは、新品と交換してください
7. 時々、電圧印加状態でテストボタンを押して動作を確認(漏電ブレーカ・単3中性線欠相保護付ブレーカ)	確実に動作し再閉路できること	動作不良の場合、新品と交換してください (注：動作不良の場合、テストボタンを5秒以上押し続けしないでください。焼損のおそれがあります)

ブレーカ 絶縁抵抗測定および耐電圧試験について

漏電ブレーカ、単3中性線欠相保護付漏電ブレーカ、単3中性線欠相保護付サーキットブレーカ、漏電警報(表示)付サーキットブレーカ、電子式ブレーカなどを測定する場合

●絶縁抵抗測定

500V以下の絶縁抵抗計をご使用ください。[表2]の×印のところの測定は行わないでください。誤って電圧を印加しますと内部の電子回路を破損することがあります。またその時の抵抗値はほぼ零(Ω)です。

表2

測定箇所	試験	絶縁抵抗測定	耐電圧試験
ハンドルの状態	ON OFF	ON OFF	ON OFF
充電部—大地間	○	○	○
左—中、中—右極間※1	○	○	○
左—右極間	電源側	×	○
	負荷側	×	×
電源—負荷端子間	—	○	—

※1. 単3中性線欠相保護付ブレーカは測定できません。

ただし、過電圧検出リード線(白)を電路から外し、絶縁テープなどで絶縁した場合は測定可能です。

●耐電圧試験

[表2]の×印のところに試験電圧を印加しないでください。誤って試験電圧を印加した場合は、内部の電子回路を破損するおそれがあります。

耐電圧試験は[表3]を基準としています。これ以上の耐電圧試験は行わないでください。

表3

単位:V

主回路		補助回路または制御回路※2	
定格絶縁電圧	試験電圧 (交流分実効値)	操作回路の 定格絶縁電圧	試験電圧 (交流分実効値)
$U_i \leq 300$	2000	$U_{is} \leq 60$	1000
$300 < U_i \leq 690$	2500	$60 < U_{is}$	$2U_{is} + 1000$ (最小 1500)

※2. 端子一括と大地間のみです。

開閉器
端子台

ブレーキ
ブレーキ

漏電
ブレーカ

感震
ブレーカー

プラグ
ブレーカ

ブレー
ブレーカ

付属
ブレーカ

開閉
器

オート
リセット

ブレー
ブレーカ

スカー
スイッチ

端子
台

電力
計測

放電
検出

放電
検出